プロ改組50周年
〝挑〟

指揮
チャールズ・オリヴィエリ=モンロー
Conductor / Charles Olivieri-Munroe

オーボエ
フィリップ・トーンドゥル
Oboe / Philippe Tondre

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra The 422nd Subscription Concert

第422回定期演奏会

2022.6.10（金）

18:45開演［17:45開場］
Friday Jun 10, 2022 Start 18:45[Open 17:45]

広島文化学園HBGホール
広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

R.シュトラウス
オーボエ協奏曲ニ長調AV.144
R.Strauss：Oboe Concerto in D major AV.144

スク
交響曲第2番ハ短調作品27「アスラエル」
Suk：Symphony No.2 in C minor Op.27 “Asrael”

コンサートマスター：蔵川瑠美
Concertmaster：Rumi Kurakawa

チケット（税込／全席指定）
S席5,300円・A席4,800円・B席4,300円（学生1,500円）
※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。（広響事務局のみで取り扱い）

チケット発売日／2022年4月11日（月）
プレイガイド／
ローソンチケット（Lコード：62351）、チケットぴあ（Pコード：208-430）、広響事務局

主催／公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成／ 文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan
文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛／ Happiness in Your Life 広島トヨペット

後援／広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、ちゅピCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お問い合わせ
広響事務局　TEL：082-532-3080 http://hirokyo.or.jp

広響公式HP

プロ改組50周年
〝挑〟

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra
The 422nd Subscription Concert

昨年、コロナ禍による入国制限から14日間待機の末、無観客による配信で絶賛を博したチャールズ・オリヴィエリ=モンローの指揮と、一方で来日が叶わなかったオーボエのフィリップ・トーンドゥルを迎え、プログラムを一新。オーボエ協奏曲には王道を行くリヒャルト・シュトラウスとした。チェコの作曲家ヨゼフ・スクは、敬愛する師、ドヴォルジャークの死を受け、師に捧げる交響曲の創作を始めるも、作曲半ばで妻（ドヴォルジャークの娘）も若くしてこの世を去るという衝撃的な出来事を経て完成、この曲に「アスラエル」（死を司る天使の名）を冠し、全5楽章からなる60分に及ぶ大作を書き上げた。

指揮
チャールズ・オリヴィエリ=モンロー
Conductor / Charles Olivieri-Munroe

ノース・チェコ・フィルハーモニー管弦楽団（テプリツェ）名誉首席指揮者。
マルタで生まれ、カナダで育ったチャールズ・オリヴィエリ＝モンローは、カナダの王立音楽院とトロント大学でピアノを学び、チェコスロヴァキア（当時）のヤナーチェク音楽アカデミー（ブルノ）で指揮を学ぶ。ビエロフラーヴェクに師事したほか、1995年と1996年の夏にはシエナのキジアーナ音楽院でムーシン、テミルカーノフ等に学ぶ。2000年の〈プラハの春音楽祭指揮者コンクール〉第1位受賞。スプラフォン・レコード賞、プラハ市賞、チェコ・ラジオ放送賞も合わせて獲得。
これまでに、ポーランド・クラクフ・フィルハーモニー管弦楽団 芸術監督兼首席指揮者、ドイツ・南ヴェストファーレン交響楽団首席指揮者、スロヴァキア放送交響楽団首席指揮者などを歴任。イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、モントリオール交響楽団、トロント交響楽団、シドニー響、ベルリン・ドイツ響、サンクトペテルブルク・フィル、ロシア国立フィル、デンマーク放送響、チェコ・フィル、ワルシャワ・フィル、さらにベルリン・コーミッシェ・オーパでヴェルディの《ファルスタッフ》ミラノで《ドン・ジョヴァンニ》を、コモ湖音楽祭では《アイーダ》を振り、フェニーチェ劇場、プラハ国民劇場、プラハ国立歌劇場、ワルシャワ室内歌劇場などからも招かれている。

オーボエ
フィリップ・トーンドゥル
Oboe / Philippe Tondre

1989年フランスのミュルーズ生まれ。パリ国立高等音楽院の学生であった18歳でシュトゥットガルト放送響首席奏者に就任。（2020年まで）2016-17年にはライプツィヒ・ゲヴァントハウス管首席奏者も務め、2019年以降はヨーロッパ室内管弦楽団（ロンドン）首席奏者とザール音楽大学教授も兼務。
2011年にミュンヘン国際音楽コンクール最高位、翌年にはボン・ベートーヴェン音楽祭でベートーヴェン・リングを授与された。
ソリストとしてもバイエルン放送響、スイス・ロマンド管、ベルリンドイツ響、シュトゥットガルト放送響などと共演。小澤征爾氏からの信頼が極めて厚く、サイトウキネンオーケストラや水戸室内管の首席を度々務めるほか、ブダペスト祝祭管、カンマー・アンサンブル・ドゥ・パリにも参加。
ヤニック・ネゼ＝セガンの招きにより2020年からフィラデルフィア管弦楽団首席オーボエ奏者を務めるとともに、2022年からはカーティス音楽院教授にも迎えられている。

新型コロナウイルスへの対応について

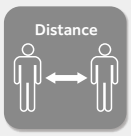
会場では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の取り組みを行っております。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

当日はご自宅で検温していただき平熱と比べ高い発熱がある場合や、体調がすぐれない方はご来場をお控えください。

会場内では、常時マスクの着用をお願いいたします。

手洗い、消毒の励行にご協力ください。

会場内での不要な会話はお控えいただき、演奏後の「ブラボー」などのお声がけもおやめください。



入場時、トイレなどは間隔を空けてお並びいただくようお願いいたします。

あなただけのマイシート

2022年度
中期定期会員募集のご案内

定期
全3回
公演

S席/12,800円　A席/11,900円　B席/10,800円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。（受付期間2022年4月25日～2022年9月29日）